

大東民報

議会版

日本共産党
大東市議会議員団
大東市谷川1丁目1-1
TEL 072-871-5588



・090-8939-5743

市会議員
まさひろ
まさひろ



・090-3864-5037

市会議員
つとむ
つとむ



・090-1079-8939

市会議員
かつこ
かつこ

法律相談

4月2日(水)
7時~
大東市民会館

平野屋新田会所を考える 市民フォーラム開かれる



小林義孝氏(平野屋新田会所を考える会)
佐久間貴士氏(大阪樟蔭女子大教授)



五野井隆史氏(東京大学名誉教授)



野島稔氏(四条畷市教育委員会) 久米雅雄氏(府教委文化財保護課)

3月8日市民会館大ホールで市民フォーラムが開かれました。

第一部 **建物破壊! 平野屋新田会所**

第二部 **戦国時代河内キリシタンの**

世界一ローマから三箇・砂

へー

第一部では「会所建物 破壊の経過」と題し、小林義孝氏(平野屋新田会所を考える会)

「会所の意義は失われていない」と題して佐久間貴士氏が講演しました。

オーボエとファゴットのデュエットが、あべ佳世氏と前田肇氏により演奏されました。

第二部では基調報告として「宣教師フロイスのみた三箇・砂のキリシタン」と題して野島稔氏(四条畷市教育委員会)

「河内・摂津のキリシタン文化」

最後に記念講演として五野井隆史氏(東京大学名誉教授)が

「キリスト教のアジア布教と河内」と題し講演しました。

と題して久米雅雄氏(大阪府教育委員会文化財保護課)がそれぞれ講演しました。

松久よしき氏、古崎、豊芦、千秋市議も参加しました。

河内(三箇など)の教会に京都・堺からの集まり復活祭などが行われていた時代があった。

最後に記念講演として五野井隆史氏(東京大学名誉教授)が

「キリスト教のアジア布教と河内」と題し講演しました。

司会進行を小林義孝氏、最後の挨拶を佐久間貴士氏が行いました。

当時、岡山(畷)で3500人、三箇で4000人、高槻で18000人(人口の73%)のキリスト教徒がいた。

日本からベトナムなど東南アジア、中国にキリスト教が広まっていった。

長崎・五島列島ではキリスト文化を世界遺産に申請中

長崎から大石氏が来られ訴えた。今度は大阪で交流・学習会を行いたい。

近藤市政と岡本市政(2期8年の対比)

		近藤市政	岡本市政
福祉	国保	<ul style="list-style-type: none"> 国保税を据え置き市民負担増のないよう奮闘 一般会計からの繰入れを増やし、赤字を抑制 	<ul style="list-style-type: none"> 国保税を3回値上げ 短期別保費正や資材増田月書を発行して滞納者への市債を実
	介護保険	<ul style="list-style-type: none"> 制度発足時に府下でもすすんだ減免制度を創設 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険料を2度も値上げ、減免要綱があるのに実施せず
	医療・保健	<ul style="list-style-type: none"> ホームヘルパーをそれまでの2.5倍に増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 市民健診の有料化を導入(700円) 市立診療所の内科を廃止
暮らし	生活保護		<ul style="list-style-type: none"> 相隣郊皆で受給を締めつけ
	資金貸付	<ul style="list-style-type: none"> 「生活福祉資金」を10万から20万に増額 	<ul style="list-style-type: none"> 審査を厳しくして借りにくくしている
	給付		<ul style="list-style-type: none"> 「敬老祝金」「障害者福祉金」を廃止
子育て	保育	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育を実現(公設民営) 保育所の大規模改修を計画的にすすめる 南郷第1保育所を廃止したが、その跡に子育て支援センターをつくり、多くの市民が利用 共済保育所への補助金を増額 	<ul style="list-style-type: none"> 全園民営化方針を打ち出し、上三箇保育所の民営化を強行。しかし保護者が裁判に訴え、市は敗訴したのに、反省なく、津の辺・寺川両市立保育所の民営化第2弾を予定。 大くま共済保育所への補助金を廃止 保育士の新規採用なし
	教育	<ul style="list-style-type: none"> 学校の大規模改修を計画的にすすめる 小中学校の教材・備品費など教育予算を増額 	<ul style="list-style-type: none"> 市内東部の小学校3校(北条西小、深野北小、四条小)を
	学校給食	<ul style="list-style-type: none"> 自校調理方式を堅持 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の給食調理を民間業者に委託(15校中13校)
街づくり	ゴミ	<ul style="list-style-type: none"> 粗大ゴミの収集回数ふやす 分別収集を全市に拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの有料化を検討
	産業振興	<ul style="list-style-type: none"> 商工会から商工会議所への昇格を援助 アーケード補助など商店街活性化に努力 	<ul style="list-style-type: none"> 「行政がかつて企業を救ったので」と新田世或の住工混在の解消に有効策なし
	街づくり	<ul style="list-style-type: none"> 水路の「せせらぎ化」を促進 「水と緑と歴史の回廊十画」を策定 「大東の杜」構想を策定 御殿地区の佳並み保存 自治会負担の防犯灯電気代への補助を増やす 開発指導要綱を強化、「地区計画」制度を導入 寝屋川護岸のペインティングを市民参加で実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平野屋会所を公有化できず、歴史遺産を生かしたまちづくり構想なし 通りにくい且不評の「住之井橋」を府とともに建設、新たに「三箇大橋」もかさ上げ 住道橋南橋連綿橋の億千万円もかけて建設 元市有地に建設された住道橋南の高層ビル床を5億6千万円で購入
その他	文化ポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 「文化系」「スポーツ振興課」を新設 「だんじり祭り」補助を実施 	
	同和行政	<ul style="list-style-type: none"> 個人給付5事業を大幅に見直し、廃止 市同和補助金を大幅削減 近藤市長が「同和終結」を表明 	<ul style="list-style-type: none"> 市長は同和是正に頑張る、日本共産党を先頭とした議会の働きかけと幹部職員の奮闘で是正の動き強まる
	女性施策	<ul style="list-style-type: none"> 女性政策課を新設し、事業を展開 	<ul style="list-style-type: none"> 女性政策課を廃止
財政運営	財政運営	<ul style="list-style-type: none"> 3年で赤字を解消、借金(起債)を減らす 	<ul style="list-style-type: none"> 公共事業に税金を注ぎ込み、借金(起債)が増える
	公的責任		<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の管理運営を民間に委ねる「指定管理者制度」を次々と導入(西日本初の図書館を含めて10施設)
	市民参加	<ul style="list-style-type: none"> 学者・市民の協力で全国的にすすんだ「情報公開条例」を制定 市長室を市民に開放、市民との対話を推進 「顔づくり事業」をスタート 	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントなど市民の意見を聞く形式はあるものの、市民参加が大きく後退 「市民との対話」をやめる 「顔づくり事業」を廃止
	清潔	<ul style="list-style-type: none"> 条件付き一般競争入札を導入、予定価格と最低制限価格を事前公表して談合排除をめざす 工事検査室も新設 	<ul style="list-style-type: none"> 最低制限価格を撤廃(調査基準価格に変更) 談合疑惑が毎年のように発覚
	政治姿勢	<ul style="list-style-type: none"> 「市民が主人公」の市政推進を標榜 	<ul style="list-style-type: none"> 市民に「自助自立」を求め、市民協生の「行革」を推進